

新四季創造株式会社

平成23年度事業報告及び第6期決算

並びに平成24年度事業計画

平成 23 年度 事業報告

1. 温泉事業

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故による計画停電の影響で4月8日まで入浴時間を短縮しての営業となり厳しいスタートとなりましたが、5月4日には平成19年オープンからの入浴者数100万人を達成することができました。しかし、4月より前年対比での入浴者数の減少が続き7月から持ち直したかに見えましたが、9月以降も前年割れが続き前年比で2,954人の減少、計画比では11,124人減の年間238,876人の入浴者数となり、初めて24万人を割り込みました。また、当施設の重要なテーマでもある木質バイオマスボイラーから発生する木質燃料の焼却灰を複数の検査機関で放射能検査をした結果、土地改良材として使用できる基準を超え、廃棄処分ができなくなったため8月半ばから木質バイオマスボイラーを停止し、灯油ボイラーでの全面運転に切り替えました。

(1) 平日利用者の増加の取組

旅行会社に対して積極的に営業活動を続けてきた成果が平成23年度は実を結びはじめ、ツアーの行程に瀬音の湯の入浴を取り入れてもらい大型バスを取り込みすることができました。また、毎年実施している鉄道会社のイベントにも協賛して集客を行うとともに、近隣の6市町村の温泉施設と協力して足湯開催などの広報活動を行い新規のお客様の獲得を図り、スタンプラリーによる集客によりリピーター化を図りました。また、市民割引をしているものの平日の市民利用者は18%前後と、まだ瀬音の湯を利用したことのない方が大勢おり、市民の利用者を増やすために、市の広報に年間通して広告を掲載して市民利用の促進を図りました。

(2) もてなし体制強化の取組

清潔感に心がけ、脱衣室・浴室は隅々まで清掃を行いお客様が気持ちよく入浴していただけるよう環境を整えています。温泉受付では笑顔での対応とお客様への声掛けなどお年寄りを意識した対応をしています。また、温泉の担当者は救命講習を受講してお客様が万が一の場合対応できる体制をとっています。

癒の空間の縁側ギャラリーは年間を通して利用され近隣の保育園のクリスマスツリーや吊るし雛がお客様から好評をいただいています。

2. 宿泊事業

平成23年度は稼働率93%で6,919人の方にご利用いただきました。4月は計画停電の影響で8日間宿泊のお客様を受け入れることができませんでしたが、その後は順調にお客様も戻り宿泊者数は昨年並みとなりました。

(1) セットプランの拡大強化

自然に囲まれたコテージは良質の温泉とともに大変好評でインターネットの検索サイトでの検索率が上位となっています。検索サイトには魅力ある 10 種類以上のセットプランを企画充実させており、懐石料理と宿泊のセットプランは人気となっています。

(2) リピーターへのサービス強化

秋川渓谷の癒しの環境と清潔なお部屋が、宿泊のリピーターの心を捉えております。お部屋の環境だけでなくコテージの周辺環境を常に清潔に保つこと、近隣の観光案内等を充実させて楽しくお泊りいただけるよう心がけています。また、リピーター向けの割引プランを企画してDM・メールによりサービス強化を図りました。

3. レストラン事業

季節の食材を多く取り入れたランチ懐石や夜の懐石コースはお客様にも人気があり楽しんでいただいています。特に旬の食材を多数取り入れた本格的な懐石料理は大変好評を得ています。また、通常メニューも毎月内容を充実させ提供しています。

(1) 利用者拡大への取組

旅行会社への営業に力を入れ団体客のツアーを取り込み、ゆったりと食事と温泉を楽しんでいただいています。また、宿泊と会席料理のセットプランを充実させ宿泊の取り込みにも一役買っており、リーズナブルなランチ懐石と松花堂弁当は食事だけのお客様にも好評を得ています。

(2) 新たな商品開発の取組

瀬音ブランドの3種類の瓶詰を直売所「朝露」で販売して好評を得ています。年末年始の宿泊のお客様には蕎麦や御節料理を提供してきました。

4. 直売事業

(1) 直売促進と安定供給の取組

農産物の直売組合と連携し、野菜の規格を統一していいものを安くお客様に提供できるように努めました。また、野菜の不足する時期は、五日市ファーマーズセンターに出荷している方にも協力していただき商品不足に対応しました。

瀬音会の業者には、商品が欠品にならないように常時連絡を取り、秋のイベントに協力と出店を依頼して集客を図っていただきました。

5. 管理事業

(1) リスク・マネジメントへの取組

平成 23 年 12 月にボイラー室の配管破裂事故が発生しました。幸いお客様と従業員

には怪我はありませんでしたが、営業が2日間ストップする事態となりました。前日の休館日に行った配管の改修工事が原因と考えられ、ボイラーの運転開始前の点検確認を含め温泉の生命線であるボイラー設備の事故を未然に防ぐ対策が不十分でした。事故後バルブの開閉等の間違いを起こさないための対策、ボイラーの異常温度時の警報の監視体制を強化しました。また、細菌感染などの事故を未然に防ぐために浴槽は毎朝殺菌消毒を実施、温泉水の塩素濃度のチェックや配管の汚れのチェックを実施しています。レストランにおいては厨房の害虫駆除、排水溝の清掃を定期的実施、また、調理器具・食器は衛生に十分に注意しています。

(2) 広告・宣伝の取組

楽天・じゃらん・JTBなどの検索サイトでの内容を充実させ、検索件数は常に上位を維持しています。また、温泉雑誌・新聞・広報などに広告宣伝を掲載して情報発信を行ないました。

新規顧客の獲得では富士通労働組合との保養契約を結ぶことができました。また、日野市・三鷹市の勤労者福祉サービスセンター等の団体に対しては営業活動が実り、入浴券を購入していただきました。現在は立川市の勤労者福祉サービスセンターとの交渉も進んでおり、今後は近隣の市町村の外郭団体への営業を強化していきます。

(3) 従業員教育の取組

6月の休館日に講師を招き「サービス向上を目指して」をテーマに社員研修を実施しました。約半数の社員が参加し有意義な研修となりました。また、アンケートにより接客・食事などの問題点を把握して改善に努めました。

(4) 施設管理の取組

浴室の扉、コテージの床・扉など5年が経過しメンテナンスの必要な部分が増えてきており、従業員でのメンテナンス体制を強化しました。

節電対策として、お客様にもご理解いただける範囲で照明器具を間引きし、冷房温度を上げるなどの節電に努め前年対比15%の節電ができました。

決 算 報 告 書

第 6 期

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日

新四季創造 株式会社

東京都あきる野市乙津565

貸借対照表

平成 24年 3月 31日 現在

単位： 円

新四季創造 株式会社

資 産 の 部

| | | | |
|------------|------------|--|-------------|
| 【 流動資産 】 | | | |
| 現金 | 4,029,650 | | |
| 普通預金 | 52,178,848 | | |
| 定期預金 | 30,022,803 | | |
| 売掛金 | 12,600 | | |
| 商品 | 3,073,084 | | |
| 原材料 | 185,255 | | |
| 貯蔵品 | 141,660 | | |
| 前払費用 | 483,422 | | |
| 未収入金 | 409,059 | | |
| 立替金 | 98,741 | | |
| 仮払金 | 2,282,000 | | |
| | 流動資産合計 | | 92,917,122 |
| 【 固定資産 】 | | | |
| (有形固定資産) | | | |
| 構築物 | 1,309,042 | | |
| 機械及び装置 | 6,443,746 | | |
| 車両運搬具 | 523,800 | | |
| 工具器具備品 | 14,043,677 | | |
| | 有形固定資産合計 | | 22,320,265 |
| (無形固定資産) | | | |
| ソフトウェア | 392,709 | | |
| | 無形固定資産合計 | | 392,709 |
| | 固定資産合計 | | 22,712,974 |
| | 資産の部合計 | | 115,630,096 |

負 債 の 部

| | | | |
|----------|------------|--|------------|
| 【 流動負債 】 | | | |
| 未払金 | 53,893,353 | | |
| 前受金 | 527,400 | | |
| 預り金 | 2,355,160 | | |
| 未払消費税 | 1,559,200 | | |
| 未払法人税等 | 1,511,400 | | |
| | 流動負債合計 | | 59,846,513 |
| | 負債の部合計 | | 59,846,513 |

純 資 産 の 部

| | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 【 株主資本 】 | | | |
| 【 資本金 】 | | | 20,000,000 |
| 【 利益剰余金 】 | | | |
| (その他利益剰余金) | | | |
| | 繰越利益剰余金 | 35,783,583 | |
| | その他利益剰余金合計 | 35,783,583 | |
| | 利益剰余金合計 | | 35,783,583 |
| | 株主資本合計 | | 55,783,583 |
| | 純資産の部合計 | | 55,783,583 |
| | 負債・純資産の部合計 | | 115,630,096 |

損益計算書

自 平成 23年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日

新四季創造 株式会社 単位： 円

| | | |
|-----------|-------------|-------------|
| 【売上高】 | | |
| 売上（温泉） | 169,318,687 | |
| 売上（宿泊） | 40,136,303 | |
| 売上（レストラン） | 115,802,280 | |
| 売上（直売） | 30,721,845 | |
| 受託収益 | 14,699,074 | 370,678,189 |
| 【売上原価】 | | |
| 期首商品棚卸高 | 2,376,301 | |
| 仕入高 | 54,760,200 | |
| 期末商品棚卸高 | △ 3,258,339 | 53,878,162 |
| 売上総利益 | | 316,800,027 |

| | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 【販売費及び一般管理費】 | | |
| 給料手当 | 125,494,026 | |
| 賞与 | 5,275,000 | |
| 法定福利費 | 11,189,183 | |
| 福利厚生費 | 499,790 | |
| 退職金共済 | 982,800 | |
| 人材派遣費 | 876,479 | |
| 消耗品費 | 13,833,291 | |
| 事務用品費 | 1,110,521 | |
| 地代家賃 | 2,748,500 | |
| 保険料 | 635,510 | |
| 修繕費 | 4,524,011 | |
| リース料 | 1,263,480 | |
| 警備料 | 8,408,396 | |
| 保守料 | 2,799,620 | |
| 設備維持管理費 | 16,577,659 | |
| 租税公課 | 378,030 | |
| 減価償却費 | 4,396,051 | |
| 旅費交通費 | 57,667 | |
| 通信費 | 1,140,005 | |
| 水道光熱費 | 83,751,011 | |
| 支払手数料 | 3,052,152 | |
| 会議費 | 134,047 | |
| 運賃 | 76,808 | |
| 広告宣伝費 | 4,671,022 | |
| 交際費 | 175,136 | |
| 新聞図書費 | 160,026 | |
| 研修費 | 229,001 | |
| 車両費 | 287,300 | |
| 列支費 | 7,885,391 | |
| 諸会費 | 384,608 | |
| 寄付金 | 6,114,000 | |
| 募集費 | 477,334 | |
| 雑費 | 1,584,377 | 311,172,232 |
| 営業利益 | | 5,627,795 |

| | | |
|---------|-----------|-----------|
| 【営業外収益】 | | |
| 受取利息 | 19,714 | |
| 雑収入 | 3,148,132 | 3,167,846 |

| | | |
|----------|--|-----------|
| 經常利益 | | 8,795,641 |
| 税引前当期純利益 | | 8,795,641 |
| 法人税等 | | 2,485,300 |
| 当期純利益 | | 6,310,341 |

株主資本等変動計算書

自 平成 23年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日

新四季創造 株式会社

単位： 円

| | | | |
|--|----------------------|-------------------------------|--|
| 【株主資本 【資本金 | 】 】 | 前期末残高及び当期末残高 | <u><u>20,000,000</u></u> |
| 【利益剰余金 (その他利益剰余金) 繰越利益剰余金 | 】 | 前期末残高 当期変動額 当期純利益 当期末残高 | 29,473,242 <u>6,310,341</u> <u><u>35,783,583</u></u> |
| 利益剰余金合計 | | 前期末残高 当期変動額 当期末残高 | 29,473,242 <u>6,310,341</u> <u><u>35,783,583</u></u> |
| 株主資本合計 | | 前期末残高 当期変動額 当期末残高 | 49,473,242 <u>6,310,341</u> <u><u>55,783,583</u></u> |
| 純資産合計 | | 前期末残高 当期変動額 当期末残高 | 49,473,242 <u>6,310,341</u> <u><u>55,783,583</u></u> |

個別注記表

自 平成 23年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日

新四季創造 株式会社

この計算書は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方式に係る事項に関する注記

消費税の会計処理

税抜方式によっています。

固定資産の減価償却の方法

定率法・定額法によっています。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっています。

役員

| 役名 | 氏名 | 備考 |
|-------|--------|------------------|
| 代表取締役 | 臼井 孝 | あきる野市長 |
| 代表取締役 | 石井 康司 | |
| 取締役 | 久保島 精一 | 十里木・長岳農畜産物等直売組合長 |
| 取締役 | 鶴田 和男 | あきる野商工会長 |
| 取締役 | 海老澤 米造 | あきる野市観光協会長 |
| 取締役 | 萩原 豊吉 | あきる野市副市長 |
| 取締役 | 森屋 洋一郎 | 秋川農業協同組合理事 |
| 監査役 | 近藤 功 | あきる野商工会副会長 |
| 監査役 | 市川 辰雄 | 秋川農業協同組合監事 |
| | | |

平成 24 年 3 月 31 日現在

会社の状況

設 立 平成 18 年 7 月 27 日

資本金 20,000,000 円

従業員 83 人 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

| | 正社員 | 嘱託 | パート |
|------|-----|----|-----|
| 瀬音の湯 | 4 | 7 | 72 |

株式総数 400 株

内訳

| 株主名 | 所有株式数 | 株式総数に対する割合 |
|-----------------|-------|------------|
| あきる野市 | 204 | 51% |
| あきる野商工会 | 60 | 15% |
| 秋川農業協同組合 | 60 | 15% |
| あきる野市観光協会 | 60 | 15% |
| 十里木・長岳農畜産物等直売組合 | 16 | 4% |
| 計 | 400 | 100% |

付属明細書

1. 固定資産の取得・処分及び減価償却明細

単位 円

| 資産の種類 | 期首帳簿価格 | 当期取得額 | 当期償却額 | 期末帳簿価格 | 償却累計額 |
|--------|------------|------------|-----------|------------|------------|
| 構 築 物 | 1,838,656 | 0 | 529,614 | 1,309,042 | 730,456 |
| 機械及び装置 | 7,974,930 | 0 | 1,531,184 | 6,443,746 | 4,134,481 |
| 車両運搬具 | 0 | 1,396,800 | 873,000 | 523,800 | 873,000 |
| 工具器具備品 | 1,269,030 | 14,074,400 | 1,299,753 | 14,043,677 | 3,618,508 |
| 開 発 費 | 555,209 | 0 | 162,500 | 392,709 | 257,291 |
| 合 計 | 11,637,825 | 15,471,200 | 4,396,051 | 22,712,974 | 10,126,771 |

平成 24 年度 事業計画 (案)

当社はオープン以来、秋川溪谷瀬音の湯の管理及び運営を行い、あきる野市観光の中心的存在として、多方面からの誘客による経済効果と、利用者への憩いの場と癒しのサービスの提供に努めてまいりました。

本年度は、再度 3 年間の指定管理者としての指名を受けることができました。引き続き指定管理者として、従業員一丸となって、以下の事業実施に向け鋭意努力をしてまいります。

平成 24 年度においては東日本大震災の影響は薄らぎましたが、電力不足など厳しい経営環境が続くと思われれます。そしてバイオマスボイラーの停止による燃料代の増加、電気料の値上げに伴いさらなる効率化によるコスト削減が要求されます。厳しい環境ではありますが入浴者数の減少をストップするために積極的な営業に努め、245,000 人の入浴者を目指します。

1 温泉事業

(1) 平日利用者の増加の取組

- ① 市民の利用促進強化
- ② PR や情報発信の強化
- ③ 入浴券販売の強化 (近隣市町村の団体と助成金を利用した契約)

(2) もてなしの体制強化の取組

- ① 利用者に配慮した心のこもった対応の徹底
- ② 安全で清潔な入浴環境の提供

2 宿泊事業

(1) 魅力ある商品の提供強化

- ① セット・プランの拡大強化
- ② リピーターへのサービス強化 (同じメニューを出さない。ドリンクサービスなど)
- ③ 記念日サービスの提供 (結婚、誕生日、こどもの日など)

(2) 翌日の観光案内や割引サービスの提供

周辺観光施設の紹介や割引、サービスなどの情報提供

3 レストラン事業

(1) 利用者拡大の取組

- ① 入浴、食事、個室利用などを含めたセット・プランの拡大と販売強化
- ② ふるさと工房や近隣観光施設との営業協力
- ③ 宿泊者向けのメニュー (夕食・懐石) の販売

(2) 新たな商品開発の取組

- ① 瀬音の湯ブランド（おせち料理、瓶詰など）の開発
- ② 地元産食材を活用した新メニューの開発

4 直売事業

(1) 販売促進の取組

- ① 秋川ブランドなどの新商品の開発や発掘
- ② 不足商品の補充体制の強化
- ③ 山菜など地域特産物の販売強化

(2) 魅力ある商品の充実の取組

- ① 販売実績による出店者の入替え
- ② 自社販売商品の強化

5 管理事業

(1) リスク・マネージメントの取組

- ① 事故・災害を想定した危機管理体制の整備（火事・地震を想定した訓練教育）
- ② 細菌感染などの事故等の未然防止など危機管理体制整備

(2) 営業強化の取組

- ① Webやホームページを活用した情報発信の強化
- ② 新規開拓を含めた総合的な営業活動の強化
- ③ 大多摩観光連盟の積極的活用
- ④ 地域イベントへの積極的な参加

(3) 従業員教育の取組

- ① アンケートによる課題抽出と対策
- ② 研修や講演などの実施によるもてなし対応の養成
- ③ 「笑顔」や「声掛け」の励行強化

(4) 施設管理の取組

- ① 日常の設備・機器のメンテナンスの徹底
- ② 節電の取組の徹底

